

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成 19 年 12 月 20 日 (2007.12.20)

【公開番号】特開 2006-133872(P2006-133872A)

【公開日】平成 18 年 5 月 25 日 (2006.5.25)

【年通号数】公開・登録公報 2006-020

【出願番号】特願 2004-319495(P2004-319495)

【国際特許分類】

G 0 6 F 3/14 (2006.01)

G 0 6 F 3/153 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 3/14 3 5 0 A

G 0 6 F 3/14 3 8 0 A

G 0 6 F 3/153 3 3 3 B

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 11 月 2 日 (2007.11.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数の外部装置と通信ネットワークを介して接続される情報処理装置であって、

複数のアプリケーションを起動する起動手段と、

前記複数の外部装置に夫々対応して設けられ、前記複数のアプリケーションにより生成されるデータが展開される複数のメモリと、

前記複数のメモリに展開されるデータを、夫々該当する外部装置に対して伝送する伝送手段と、

前記複数のメモリのうちの一部のメモリに展開されるデータを一時退避させるための退避用のメモリと、

前記複数のメモリにデータが既に展開されるアプリケーションとは異なる新たなアプリケーションが前記起動手段により起動された場合、前記新たなアプリケーションにより生成されるデータの転送先となる外部装置を前記複数の外部装置から選択する選択手段と、

前記選択手段により選択された前記外部装置に対応する前記複数のメモリの一部であるメモリ 1 に展開されるデータ、又は、前記メモリ 1 とは異なる、前記複数のメモリの一部であるメモリ 2 に展開されるデータを、前記退避用のメモリに転送させ、前記メモリ 2 に展開されるデータが前記退避用のメモリに転送された場合、前記メモリ 1 に展開されるデータを前記メモリ 2 に転送させ、前記新たなアプリケーションにより生成されるデータを前記メモリ 1 に転送する転送手段とを有することを特徴とする情報処理装置。

【請求項 2】

前記選択手段は、前記新たなアプリケーションにより生成されるデータが動画か静止画かにより、前記外部装置を選択することを特徴とする請求項 1 に記載の情報処理装置。

【請求項 3】

前記選択手段は、前記新たなアプリケーションにより生成されるデータを表示する表示性能により、前記外部装置を選択することを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の情報処理装置。

【請求項 4】

前記複数の外部装置と接続した後に、前記複数の外部装置がサポートする通信プロトコル及び前記複数の外部装置における画像表示の解像度を管理テーブル内に格納する管理手段を更に有し、

前記選択手段は、前記管理テーブル内に格納される情報に基づいて、前記新たなアプリケーションにより生成されるデータの転送先となる前記外部装置を選択することを特徴とする請求項 1 乃至 3 の何れか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 5】

前記新たなアプリケーションによる処理の終了に伴い、前記メモリ 2 に展開されているデータを前記メモリ 1 に転送するか否かを判断する判断手段と、

前記転送手段は、前記判断手段により前記メモリ 2 に展開されているデータを前記メモリ 1 に転送すると判断した場合には、前記メモリ 2 に展開されているデータを前記メモリ 1 に転送し、前記退避用のメモリに展開されていたデータを前記メモリ 2 に転送し、前記メモリ 2 に展開されているデータを前記メモリ 1 に転送しないと判断した場合には、前記退避用のメモリに展開されていたデータを前記メモリ 1 に転送することを特徴とする請求項 1 乃至 4 の何れか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 6】

前記判断手段は、前記メモリ 2 に展開されていたデータを伝送する上で前記メモリ 1 に対応する前記外部装置が適した通信プロトコルを使用している場合に、前記メモリ 2 に展開されているデータを前記メモリ 1 に転送すると判断することを特徴とする請求項 5 に記載の情報処理装置。

【請求項 7】

前記判断手段は、前記メモリ 2 に展開されていたデータを伝送する上で前記メモリ 1 に対応する前記外部装置が適した表示性能を有する場合に、前記メモリ 2 に展開されているデータを前記メモリ 1 に転送すると判断することを特徴とする請求項 5 又は 6 に記載の情報処理装置。

【請求項 8】

前記転送手段が前記退避用のメモリに展開されていたデータを前記メモリ 1 又は前記メモリ 2 に対して転送できなかった場合、前記退避用のメモリに展開されていたデータに対応するアプリケーションを起動させて、前記退避用のメモリに展開されていたデータを前記メモリ 1 又は前記メモリ 2 に展開させることを特徴とする請求項 5 乃至 7 の何れか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 9】

前記伝送手段は、無線チャネル上において任意の外部装置が占有して使用できる時間領域である非衝突領域を用いて、前記複数の外部装置に対してデータを伝送することを特徴とする請求項 1 乃至 8 の何れか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 10】

前記複数の外部装置と所定の手順を用いてランダムに通信する時間領域である衝突領域を用いて、当該情報処理装置における表示に係る制御データを前記複数の外部装置から受信する受信手段を更に有することを特徴とする請求項 1 乃至 9 の何れか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 11】

前記制御データは、前記複数の外部装置により表示されるポインティングデバイスによるカーソルの位置情報であることを特徴とする請求項 10 に記載の情報処理装置。

【請求項 12】

前記複数の外部装置に対応する複数の制御ウィンドウを表示部に表示させる表示手段を更に有し、前記選択手段は、前記メモリ 1 に対応する前記外部装置の制御ウィンドウ上において前記新たなアプリケーションが起動されることにより、前記新たなアプリケーションにより生成されるデータの転送先として前記メモリ 1 に対応する前記外部装置を選択することを特徴とする請求項 1 乃至 11 の何れか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 13】

前記複数の制御ウインドウのうち、ポインティングデバイスによりカーソルが表示される制御ウインドウを検出する検出手段を更に有し、

前記伝送手段は、前記検出手段により検出された制御ウインドウに対応する外部装置に対して、前記カーソルの位置情報を更に伝送することを特徴とする請求項 1 2 に記載の情報処理装置。

【請求項 1 4】

前記複数の外部装置に対応する制御ウインドウを表示部に表示させる表示手段と、

前記制御ウインドウのうち、ポインティングデバイスによりカーソルが表示される制御ウインドウを検出する検出手段とを更に有し、

前記伝送手段は、前記検出手段により検出された制御ウインドウに対応する外部装置に対して、前記カーソルの位置情報を更に伝送することを特徴とする請求項 1 乃至 1 1 の何れか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 1 5】

前記伝送手段は、前記検出手段により検出されなかった制御ウインドウに対応する外部装置に対して、所定の位置を示す前記カーソルの位置情報を伝送することを特徴とする請求項 1 3 又は 1 4 に記載の情報処理装置。

【請求項 1 6】

前記伝送手段は、前記検出手段により検出されなかった制御ウインドウに対応する外部装置に対して、当該制御ウインドウ上における前記カーソルの最終位置を示す前記カーソルの位置情報を伝送することを特徴とする請求項 1 3 又は 1 4 に記載の情報処理装置。

【請求項 1 7】

前記選択手段は、予め指定された前記メモリ 1 に対応する前記外部装置を選択することを特徴とする請求項 1 に記載の情報処理装置。

【請求項 1 8】

複数の外部装置に夫々対応して設けられ、複数のアプリケーションの画像データが展開される複数のメモリと、前記複数のメモリのうちの一部のメモリに展開される画像データを一時退避させるための退避用のメモリとを有し、前記複数の外部装置と通信ネットワークを介して接続される情報処理装置による情報処理方法であって、

前記複数のメモリにデータが既に展開されるアプリケーションとは異なる新たなアプリケーションが起動された場合、前記新たなアプリケーションにより生成されるデータの転送先となる外部装置を前記複数の外部装置から選択ステップと、

前記選択ステップにより選択された前記外部装置に対応する前記複数のメモリの一部である前記メモリ 1 に展開されるデータ、又は、前記メモリ 1 とは異なる、前記複数のメモリの一部であるメモリ 2 に展開されるデータを、前記退避用のメモリに転送させ、前記メモリ 2 に展開されるデータが前記退避用のメモリに転送された場合、前記メモリ 1 に展開されるデータを前記メモリ 2 に転送させ、前記新たなアプリケーションにより生成されるデータを前記メモリ 1 に転送する転送ステップとを含むことを特徴とする情報処理方法。

【請求項 1 9】

複数の外部装置に夫々対応して設けられ、複数のアプリケーションの画像データが展開される複数のメモリと、前記複数のメモリのうちの一部のメモリに展開される画像データを一時退避させるための退避用のメモリとを有し、前記複数の外部装置と通信ネットワークを介して接続される情報処理装置による情報処理方法をコンピュータに実行させるためのプログラムであって、

前記複数のメモリにデータが既に展開されるアプリケーションとは異なる新たなアプリケーションが起動された場合、前記新たなアプリケーションにより生成されるデータの転送先となる外部装置を前記複数の外部装置から選択ステップと、

前記選択ステップにより選択された前記外部装置に対応する前記複数のメモリの一部である前記メモリ 1 に展開されるデータ、又は、前記メモリ 1 とは異なる、前記複数のメモリの一部であるメモリ 2 に展開されるデータを、前記退避用のメモリに転送させ、前記メモリ 2 に展開されるデータが前記退避用のメモリに転送された場合、前記メモリ 1 に展開

されるデータを前記メモリ２に転送させ、前記新たなアプリケーションにより生成されるデータを前記メモリ１に転送する転送ステップとをコンピュータに実行させるためのプログラム。

【請求項２０】

複数の外部装置に夫々対応して設けられ、複数のアプリケーションの画像データが展開される複数のメモリと、前記複数のメモリのうちの一部のメモリに展開される画像データを一時退避させるための退避用のメモリとを有し、前記複数の外部装置と通信ネットワークを介して接続される情報処理装置による情報処理方法をコンピュータに実行させるためのプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体であって、

前記複数のメモリにデータが既に展開されるアプリケーションとは異なる新たなアプリケーションが起動された場合、前記新たなアプリケーションにより生成されるデータの転送先となる外部装置を前記複数の外部装置から選択ステップと、

前記選択ステップにより選択された前記外部装置に対応する前記複数のメモリの一部である前記メモリ１に展開されるデータ、又は、前記メモリ１とは異なる、前記複数のメモリの一部であるメモリ２に展開されるデータを、前記退避用のメモリに転送させ、前記メモリ２に展開されるデータが前記退避用のメモリに転送された場合、前記メモリ１に展開されるデータを前記メモリ２に転送させ、前記新たなアプリケーションにより生成されるデータを前記メモリ１に転送する転送ステップとをコンピュータに実行させるためのプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００９

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００９】

本発明の情報処理装置は、複数の外部装置と通信ネットワークを介して接続される情報処理装置であって、複数のアプリケーションを起動する起動手段と、前記複数の外部装置に夫々対応して設けられ、前記複数のアプリケーションにより生成されるデータが展開される複数のメモリと、前記複数のメモリに展開されるデータを、夫々該当する外部装置に対して伝送する伝送手段と、前記複数のメモリのうちの一部のメモリに展開されるデータを一時退避させるための退避用のメモリと、前記複数のメモリにデータが既に展開されるアプリケーションとは異なる新たなアプリケーションが前記起動手段により起動された場合、前記新たなアプリケーションにより生成されるデータの転送先となる外部装置を前記複数の外部装置から選択する選択手段と、前記選択手段により選択された前記外部装置に対応する前記複数のメモリの一部であるメモリ１に展開されるデータ、又は、前記メモリ１とは異なる、前記複数のメモリの一部であるメモリ２に展開されるデータを、前記退避用のメモリに転送させ、前記メモリ２に展開されるデータが前記退避用のメモリに転送された場合、前記メモリ１に展開されるデータを前記メモリ２に転送させ、前記新たなアプリケーションにより生成されるデータを前記メモリ１に転送する転送手段とを有することを特徴とする。

本発明の情報処理方法は、複数の外部装置に夫々対応して設けられ、複数のアプリケーションの画像データが展開される複数のメモリと、前記複数のメモリのうちの一部のメモリに展開される画像データを一時退避させるための退避用のメモリとを有し、前記複数の外部装置と通信ネットワークを介して接続される情報処理装置による情報処理方法であって、前記複数のメモリにデータが既に展開されるアプリケーションとは異なる新たなアプリケーションが起動された場合、前記新たなアプリケーションにより生成されるデータの転送先となる外部装置を前記複数の外部装置から選択ステップと、前記選択ステップにより選択された前記外部装置に対応する前記複数のメモリの一部である前記メモリ１に展開されるデータ、又は、前記メモリ１とは異なる、前記複数のメモリの一部であるメモリ２に展開されるデータを、前記退避用のメモリに転送させ、前記メモリ２に展開されるデー

タが前記退避用のメモリに転送された場合、前記メモリ 1 に展開されるデータを前記メモリ 2 に転送させ、前記新たなアプリケーションにより生成されるデータを前記メモリ 1 に転送する転送ステップとを含むことを特徴とする。

本発明のプログラムは、複数の外部装置に夫々対応して設けられ、複数のアプリケーションの画像データが展開される複数のメモリと、前記複数のメモリのうちの一部のメモリに展開される画像データを一時退避させるための退避用のメモリとを有し、前記複数の外部装置と通信ネットワークを介して接続される情報処理装置による情報処理方法をコンピュータに実行させるためのプログラムであって、前記複数のメモリにデータが既に展開されるアプリケーションとは異なる新たなアプリケーションが起動された場合、前記新たなアプリケーションにより生成されるデータの転送先となる外部装置を前記複数の外部装置から選択ステップと、前記選択ステップにより選択された前記外部装置に対応する前記複数のメモリの一部である前記メモリ 1 に展開されるデータ、又は、前記メモリ 1 とは異なる、前記複数のメモリの一部であるメモリ 2 に展開されるデータを、前記退避用のメモリに転送させ、前記メモリ 2 に展開されるデータが前記退避用のメモリに転送された場合、前記メモリ 1 に展開されるデータを前記メモリ 2 に転送させ、前記新たなアプリケーションにより生成されるデータを前記メモリ 1 に転送する転送ステップとをコンピュータに実行させることを特徴とする。

本発明のコンピュータ読み取り可能な記録媒体は、複数の外部装置に夫々対応して設けられ、複数のアプリケーションの画像データが展開される複数のメモリと、前記複数のメモリのうちの一部のメモリに展開される画像データを一時退避させるための退避用のメモリとを有し、前記複数の外部装置と通信ネットワークを介して接続される情報処理装置による情報処理方法をコンピュータに実行させるためのプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体であって、前記複数のメモリにデータが既に展開されるアプリケーションとは異なる新たなアプリケーションが起動された場合、前記新たなアプリケーションにより生成されるデータの転送先となる外部装置を前記複数の外部装置から選択ステップと、前記選択ステップにより選択された前記外部装置に対応する前記複数のメモリの一部である前記メモリ 1 に展開されるデータ、又は、前記メモリ 1 とは異なる、前記複数のメモリの一部であるメモリ 2 に展開されるデータを、前記退避用のメモリに転送させ、前記メモリ 2 に展開されるデータが前記退避用のメモリに転送された場合、前記メモリ 1 に展開されるデータを前記メモリ 2 に転送させ、前記新たなアプリケーションにより生成されるデータを前記メモリ 1 に転送する転送ステップとをコンピュータに実行させるためのプログラムを記録したことを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 0

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 1

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 2

【補正方法】削除

【補正の内容】